



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成24年05月14日 第562号「週刊五十嵐レポート」

NHK「追跡！世界キティ旋風のナゾ」より

5月12日(土)、NHK「追跡！世界キティ旋風のナゾ」という番組を観た。クールジャパンといわれている日本のアニメなどのコンテンツが世界では有名になっているが、ビジネスになっていないという話。その中でサンリオの「ハローキティ」が例外的に海外で成功している例として採り上げている。

なぜ日本のアニメやキャラクターが世界に受け入れられていないのか。それはそのままのアニメやキャラクターでは相手国の宗教や文化になじまないところにある。また日本のアニメなどが中国や韓国のもとの差がなくなりつつあるということ。

講談社は野球アニメ「巨人の星」を経済発展が目覚ましいインドに輸出する。インドでは野球ではなくインドの国技であるクリケット版としてリニューアル製作をする。養成ギブスは採用するが、星一徹がちゃぶ台をひっくり返す場面はカットするようにインド使用に変える。つまり「郷に入ったら郷に従え」という格言のとおり。

サンリオの業績に寄与しているのが「ハローキティ」のライセンス事業(キャラクターの使用権を供与する事業)。ディズニーなどのキャラクターには制限が多いが、サンリオの「ハローキティ」等はある程度の自由度があることで市場が拡大している。番組では、ハローキティが支持されていることとして、1番はピンクであること。2番は何にでも合うこと。

サンリオを変えたのは鳩山取締役。米国に留学していたときにミッキーはあるのに、キティはない。供給すれば必ず市場はできると。またライセンス事業を推進することでキャラクター商品の在庫や出店経費がかさむリスクを抱えながら拡販する「自前主義」と決別。(売上は減少したが、利益は増大)

宗教、文化の違う海外では、相手に合わせるため、変えなければならないものが多々ある。それが柔軟性。自信と謙虚さを持ち合わせること。

ちょっと
気になる出来事

5月12日(日)、日経新聞スポーツ1欄「海老沼 隠し技一本」という記事

柔道、男子66級は昨年の世界選手権王者の22歳、海老沼選手が3連覇した。決勝の相手は決勝まで一本勝ちしていた森下選手。

海老沼選手は「負けるのにおびえていた」。残り55秒、支え釣り込み足で一本勝ちした。飽くことなく反復した隠し技だった。

「準備不足の不安、ライバルへの恐れ、丸裸にされた焦燥。ジリ貧のはてに顔を出したのは、誠実に己を磨いた過去の歳月だった」

プラス思考だけの選手が勝つわけではない。不安で怖がっている人が日々の練習の成果で勝ちを得ることがある。

不安がために練習する。不安がために事業に精進する。

不安はエネルギーになれる。



一口メモ
成功の秘訣

アクションプランをつくる

経営者とは行動する者であり、物事をなす者である。行動の前には計画しなければならない。「望むべき結果」「予想される障害」「必要となる修正」「チェックポイント」「時間管理上の意味合い」を考える。

第1に、「今後1年半あるいは2年間、自分は何によって貢献すべきか」「いかなる成果をもたらすべきか」「それはいつまでか」

第2に、行動への制約条件を考えなければならない。「倫理的に正しいか」「組織内で理解を得られるか」「法的に問題はないか」「組織としてのミッション、価値観、方針に合っているか」

アクションプランとは意図であって、絶対の約束ではない。拘束ではない。柔軟性を当然のこととしなければならない。

アクションプランには、成果と期待を照合するためのチェックポイントが必要。アクションプランは時間管理の基準問い手も必要である。

P. F. ドラッカー著「経営者の条件」(ダイヤモンド社)

- 週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行 ●月刊五十嵐レポートダイジェスト
 - 町コンランチエスター経営戦略塾「会社成功塾」 毎週日曜日 午前10時～12時。
 - 町コン・ランチエスター経営戦略セミナー 毎月東京開催
- (株)五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
Tel03-3659-7703 Fax03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

